

スナップ®・ハートワーム RT



【一般的注意】

1. 定められた使用方法を厳守すること。
2. 本キットは使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

【形状・構造等（キットの構成）】

・デバイス

反応膜：抗犬糸状虫成虫抗原ウサギポリクローナル抗体、
抗西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼヤギ抗体、
ウサギIgG

洗浄液[†]：界面活性剤含有クエン酸緩衝食塩水

TMB溶液：過酸化水素含有テトラメチルベンチジン(TMB)

・コンジュゲート[†]：

西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼ標識抗犬糸状虫成虫抗原ニワトリポリクローナル抗体

・サンプルバイアル

・トランスファーピペット

[†]イソシアゾリン系防腐剤 (ProClin™ 150) 含有

【使用目的】

犬の血中における犬糸状虫 (*Dirofilaria immitis*) 成虫抗原の検出

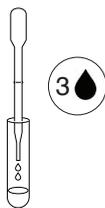
【使用方法（操作方法）】

・使用検体

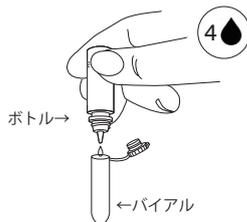
犬の血清、血漿又は全血

操作手順

1. キット及び検体は使用前に室温（18～25℃）に戻しておく。
2. キットに同梱されているトランスファーピペットを用いて検体を吸い、その検体をバイアルに3滴（約150 μL）加える。



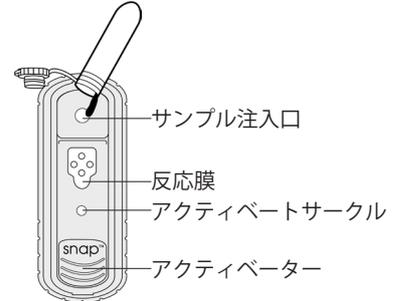
3. コンジュゲートの入ったボトルを垂直に保ちながら、コンジュゲートをバイアルに4滴加える。



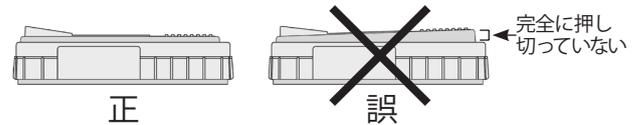
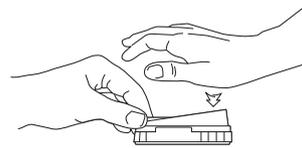
4. バイアルのふたを開け、3-5回の転倒混和により検体とコンジュゲートを良く混ぜ合わせる。



5. デバイス本体を水平に置き、バイアル中の検体全てをサンプル注入口に注ぐ。サンプルは反応膜を横切りアクティベートサークルの方向に流出する。



6. サンプルが反応膜を横切り、アクティベートサークルに達すると、（約30秒～2分後）アクティベートサークルの色が変化してくる。この変化が認められたらすぐに、アクティベーターを押す。このときアクティベーターが本体基底部と水平になるまで完全に押し下げる。

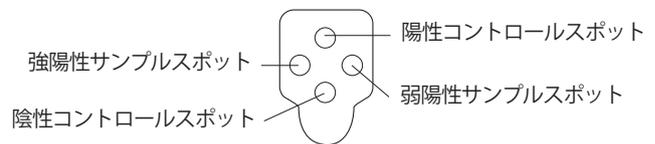


※所定の時間経過後もアクティベートサークルに達しない場合には、サンプルが反応膜を通過した時点でアクティベーターを押す。

7. 8分後判定を行う。

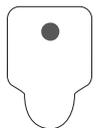
【測定結果の判定法】

反応膜上の各スポットの発色により結果を判定する。犬糸状虫成虫抗原検出の場合は、その濃度により、弱陽性サンプルスポット、および強陽性サンプルスポットが発色する。陽性コントロールスポットが青色に発色しなかった場合には再検査を行う。



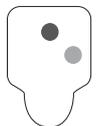
陰性

陽性コントロールスポットのみ青色に発色した場合

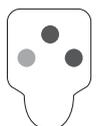


陽性

弱陽性：陽性コントロールスポット及び弱陽性サンプルスポットのみ青色に発色した場合。

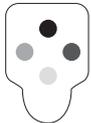


強陽性：陽性コントロールスポット、弱陽性サンプルスポット及び強陽性サンプルスポットのみ青色に発色した場合。

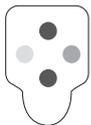


陰性コントロールスポットが青色に発色した場合
陰性コントロールスポットは非特異反応を示唆する。

陽性：陰性コントロールスポットの発色が弱陽性サンプルスポット及び強陽性サンプルスポットの発色と比較して薄い場合には陽性と判定する。



判定保留：陰性コントロールスポットの発色が弱陽性サンプルスポット及び強陽性サンプルスポットの発色と同等あるいは濃い場合には再検査を行う。



判定保留

- * バックグラウンドでの発色が著しく判定が困難な場合。
- * 全てのスポットが全く青色に発色しない場合。
- ◎ 判定保留の場合には再検査を行う。

【使用時の注意】

- 検体に関する注意
 - 血清、血漿又は全血が使用可能である。
 - 全血を使用する場合には必ず抗凝固剤（EDTA、ヘパリン等）を加えること。
- 検査時の注意
 - サンプルバイアル、およびトランスファーピペットは検査ごとに新しいものを使用すること。
 - 必ず同梱されている試薬を使用すること。
 - 検査中はデバイスを常に水平に保つこと。
 - 使用前にアクティベーターを押さないように注意すること。
また、検体を加える前にアクティベートしてしまったデバイスは使用しないこと。
 - アクティベートしたデバイスは強い光にさらさないこと。
 - 本キットおよび検体（被検品）を冷蔵庫で保管する場合は、室温に戻してから使用すること。
 - 感染のおそれのある血液などの取扱い及び廃棄は慎重に行うこと。

【取扱い上の注意】

- 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- 使用期限の過ぎたキットは使用しないこと。
- 異なる製造番号の試薬を組み合わせ使用しないこと。
- 使用済みの容器等は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【保管上の注意】

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- キットの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温または凍結を避けて保管すること。

【貯蔵方法・有効期間】

- 貯蔵方法
室温（2-25℃）で保存
- 有効期間
外箱に記載

【包装単位】

- ・5テスト用
デバイス5個、コンジュゲート1本、
サンプルバイアル5個、トランスファーピペット5本
 - ・30テスト用
デバイス30個、コンジュゲート1本、
サンプルバイアル30個、トランスファーピペット30本
- 【問い合わせ先・製造販売元】
アイデックスラボラトリーズ株式会社
テクニカルサポート 0120-71-4921
(自動音声案内1番)

【包装単位】

- ・5テスト用
デバイス5個、コンジュゲート1本、
サンプルバイアル5個、トランスファーピペット5本
- ・30テスト用
デバイス30個、コンジュゲート1本、
サンプルバイアル30個、トランスファーピペット30本

【問い合わせ先・製造販売元】

製造販売元：

アイデックスラボラトリーズ株式会社
テクニカルサポート 0120-71-4921
(自動音声案内1番)

製造元：

IDEXX Laboratories, Inc.
One IDEXX Drive, Westbrook, Maine 04092 USA

IDEXX

VLN: 313

*SNAP is a trademark or registered trademark of IDEXX Laboratories, Inc. or its affiliates in the United States and/or other countries.

© 2024 IDEXX Laboratories, Inc. All rights reserved.

06-14262-07